

記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年8月25日朝刊

栄養豊富、免疫高める**微細藻類** 「イデユコゴメ」大量培養

養殖、酪農効率化へ

栄養が豊富で生物の免疫力を高める微細藻類「イデユコゴメ」を海水で大量培養する手法を、国立遺伝学研究所（三島市）の宮城島進也教授（46）と広岡俊亮特任助教（37）らの研究チームが開発した。動物や魚の飼料にすることで、病気が少なく成長の早い養殖や酪農などが期待される。24日、英国のオンライン科学誌に研究成果が掲載された。

国立遺伝研チーム （三島）

従来の微細藻類は固い細胞壁を持ち、摂取しても体内で溶け出さずに栄養分を取り込みにくいという問題点があった。宮城島教授らは細胞壁のないイデユコゴメを発見した。培養してサプリメントの増殖や魚に与えることで安定的な成長

増殖や食害の影響を受ける。開放培養は低コストの半面、他の生物による屋外の池などで行う



イデユコゴメを大量培養する手法を開発した研究者

＝8月中旬、三島市の国立遺伝学研究所

けやすい。人工的に酸性化した海水を用いることでその弱点を克服した。地球上にはない環境のため入り込んだ生物は死ぬ一方、徐々に酸性の海水に慣れさせたイデユコゴメは安定して増殖していく。規模や立地の制約を受けずに大量培養でき、産業への活用が期待される。

当面はイデユコゴメの乾燥粉末1トを生成し、2～3年後の実用化、5年後の海水培養の確立を目指す。既に国内3社との共同開発も始まり、今後さらに連携先を広げる予定。宮城島教授は食品開発への展開も視野に「人間の健康増進に寄与する可能性もある。まずは動物での有用性を確かめたい」と語る。

（三島支局・金野真七）

①「イデユコゴメ」の研究成果は何に掲載されたのか。

()

②「イデユコゴメ」とはどんな微細藻類で、どんな期待が持たれているか。

()

③「イデユコゴメ」が従来の微細藻類と違っている点を書きなさい。

()

④「イデユコゴメ」の今後の可能性について、記事から読み取って書きなさい。

()

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2020年8月25日朝刊

栄養豊富、免疫高める**微細藻類** 「イデユコゴメ」大量培養

養殖、酪農効率化へ

栄養が豊富で生物の免疫力を高める微細藻類「イデユコゴメ」を海水で大量培養する手法を、国立遺伝学研究所（三島市）の宮城島進也教授（46）と広岡俊亮特任助教（37）らの研究チームが開発した。動物や魚の飼料にすることで、病気が少なく成長の早い養殖や酪農などが期待される。24日、英国のオンライン科学誌に研究成果が掲載された。

国立遺伝研チーム（三島）

従来の微細藻類は固い細胞壁を持ち、摂取しても体内で溶け出さず、栄養分を取り込みにくいという問題点があった。宮城島教授らは細胞壁のないイデユコゴメを発見した。培養してサプリメントの増殖や食害の影響をよように動物や魚に与えることで安定的な成長

開放培養は低コストの増殖や食害の影響を受ける。屋外の池などで行う。飼料の生成も可能と見られる。



イデユコゴメを大量培養する手法を開発した研究者

8月中旬、三島市の国立遺伝学研究所

けやすい。人工的に酸性化した海水を用いることでその弱点を克服した。地球上にはない環境のため入り込んだ生物は死ぬ一方、徐々に酸性の海水に慣れさせたイデユコゴメは安定して増殖していく。規模や立地の制約を受けずに大量培養でき、産業への活用が期待される。当面はイデユコゴメの乾燥粉末1トを生成し、2〜3年後の実用化、5年後の海水培養の確立を目指す。既に国内3社との共同開発も始まり、今後さらに連携先を広げる予定。宮城島教授は食品開発への展開も視野に「人間の健康増進に寄与する可能性もある。まずは動物での有用性を確かめたい」と語る。

（三島支局・金野真七）

①「イデユコゴメ」の研究成果は何に掲載されたのか。

（ **英国のオンライン科学誌** ）

②「イデユコゴメ」とはどんな微細藻類で、どんな期待が持たれているか。

（ **（例）栄養が豊富で生物の免疫力を高める微細藻類で、動物や魚の飼料にすることで、病気が少なく成長の早い養殖や酪農が期待できる。** ）

③「イデユコゴメ」が従来の微細藻類と違う点を書きなさい。

（ **（例）固い細胞壁を持ち、摂取しても体内で溶け出さず、栄養分を取り込みにくいという従来の微細藻類と違って、細胞壁がない点。** ）

④「イデユコゴメ」の今後の可能性について、記事から読み取って書きなさい。

（ **（例）規模や立地の制約を受けずに大量培養でき、産業への活用が期待できる。食品開発への展開も視野に人間の健康増進に寄与する可能性もある。 など** ）

年 組 名前